

## あとがき

昭和五十六年（一九八一）七月に、竹野町史編纂委員会が設置されましたが、昭和六十年（一九八五）四月には、監修者および専門委員（執筆者）が委嘱され、竹野町史編纂事業は軌道に乗りました。

監修者の日野西眞定<sup>ひのにしんじょう</sup>先生を初め専門委員の方は、五来重（ごらい・しげる 明治四十一年、茨木県生まれ、東京大学文学部・京都大学文学部卒、高野山大学教授などを経て、現在大谷大学名誉教授、庶民信仰史・民俗学専攻、『高野聖』『仏教と民俗』ほか著書・論文多数）先生の門下で、研究を積んでこられた方々です。多数のすぐれた研究者にご協力をお願いすることができ、さらに地元の編纂委員にも参加していただいて、強力な執筆陣を整えることができたことは、何よりの喜びでした。

さて、辞令が出て間もない四月の初め、監修者・専門委員・編纂委員による第一回の合同会議を開き、編纂計画・執筆担当その他について協議しました。その翌日には、三原から須井・田久日にかけて車を走らせ、町内の地形や集落の状態を視察しました。合同会議は毎年春と秋に開き、その機会に町内視察を数回行ないました。なお、京都市では月に一回、専門委員京都集會が開かれまし

た。

専門委員の調査活動は、最初の会議直後から始められました。委員の皆さんは、勤務という時間的な束縛に加えて、高野山とか京阪神という距離的な制約があります。これらの難点を克服して、夏といわず冬といわず、何回となく当町に来ていただきました。そして全部の地区のすみずみまで尋ねて、目と耳と心を働かせて、調査・聴き取り・資料集めなどに奔走して下さったのです。そのご尽力の結晶が、この巻にまとめられたのでありまして、ただ頭が下がるばかりでございます。

次に、町内のかたで、伝承を話して下さったり、資料を見せて下さったり、その他いろいろな点で惜しみないご協力をいただきました多くの方に、心からお礼を申し上げます。忙しい折もあつたでしょう、雪の時もあつたでしょう、けれども親切に応接して下さいました。ただ、せっかくご協力をいただきましたながら、心ならずも他界されたため、本書の出来ばえを見ていただけない方がおられることは、大へん残念でなりません。

この巻は、竹野町の民俗と文化財を採集・発掘し、整理・意義づけしたものです。竹野谷に伝承されてきた習俗や文化を見ることによって、この谷に住みついた人々の生活感情にふれることができます。また、郷土の歴史を知ることができ、それを築き上げてきた先人の心を読み取ることができます。さらに進めて、わが町を見直し、わが町の発展を模索する手がかりになるなら、何よりの喜びとするものです。

終わりにりましたが、このたびの刊行に関係していただきました多くの方に、心からお礼を申し述べます。また、技術を生かし誠意を尽くして印刷製本に当たって下さいました(株)北星社に感謝のことはささげまして、あとがきといたします。

平成三年三月

竹野町史編纂委員会委員長

山本 祐雄

【竹野町史執筆分担一覽】

氏名 編

分

担

現(前)職

日野西眞定 民俗 第一章 第七章第六節 第八章第一節～第三節 高野山大学教授

(1)(2)(3)・第五節

山田知子 第二章 第十一章第十節 大谷大学教授

菊池武 第三章第一節～第四節・第八節～第十五節 第四章 第五章 第七章第一節～第五節 第十章 砺波市立散村地域研究所研究員

第四節 第十一章第十二節 第十二章第三節

山崎時叙 第三章第五節～第七節 第九章 日本宗教民俗学研究所研究員

豊島修 第六章 第十章第一節・第二節(2)・第三節(2)(4) 第六節(1)(2)・第七節 第十二章第一節～第二節 大谷大学助教

節

大森恵子 第八章第三節(4)～第四節 第十一章第一節～第九節・第十一節 明德商業高等学校教諭

九節・第十一節

根井浄 第十章第二節(1)・第三節(1)(3)・第六節(3) 神戸常盤短期大学助教

木場明志 第十章第五節 大谷大学助教

乳原厚彦 第十三章 竹野町立中竹野小学校長

町史編纂室 〃 第十四章

日野西 眞定 論文 一

斎藤 寿始子 〃 二

財団法人大阪国際児童文学館総  
括専門員

大野 貞紀 〃 三

養父町立養父中学校教頭

須田 勝嶺仁 文化財 一

大谷女子短期大学助教授

木下 浩良 〃 二 三町指定 18

高野山大学図書館司書

山田 寿夫 〃 三まえがき 町指定 6 〃 7 町指定外 3 〃 6 〃

竹野町文化財審議委員会副委員長

11 〃 12

日野西 眞定 〃 三町指定 12 〃 町指定外 2 〃 14 〃 21

落合 良照 〃 三町指定 19 〃 町指定外 1

元竹野町文化財審議委員会委員長

乳原 厚彦 〃 三町指定外 7

木瀬 質 〃 三町指定外 8 〃 13 〃 15

元豊岡市立八条小学校長

平岡 重徳 〃 三町指定外 9 〃 10 〃 16 〃 20

元竹野町文化財審議委員会委員

高松 龍暉 資料 一

日本考古学協会会員

日野西 眞定 〃 二 三 1

木場 明志 〃 三 2

大森	山田	菊池	根井	豊島
恵子	知子	武	浄	修
〃	〃	〃	〃	〃
四2	四1	三5	三4	三3

【竹野町史編纂委員会委員名簿】

委員	委員長	委員	委員	委員	委員	委員	委員	委員
山本 祐雄	細田 昌	橋本 一布	乳原 厚彦	大野 貞紀	落合 良照	木瀬 質	平岡 重徳	山田 寿夫
								故清 水弘一

【専門委員名簿】

監修者・委員	専門委員	専門委員	専門委員
日野西 眞定	大森 恵子	菊池 武	木下 浩良
高野山大学教授	明德商業高等学校教諭	砺波市立散村地域研究所研究員	高野山大学図書館司書

専門委員	木場明志	大谷大学助教授
専門委員	斎藤寿始子	財団法人大阪国際児童文学館総括専門員
専門委員	須田勝嶺仁	大谷女子短期大学助教授
専門委員	高松龍暉	日本考古学協会会員
専門委員	豊島修	大谷大学助教授
専門委員	根井浄	神戸常盤短期大学助教授
専門委員	山陰加春夫	高野山大学助教授
専門委員	山崎時叙	日本宗教民俗学研究所研究員
専門委員	山田知子	大谷大学教授

【竹野町史編纂担当事務局】

現在の担当者

今までの担当者

竹野町教育委員会

教育長	井垣克巳(59年)	教育長	小田慶長(58年)
生涯学習課長	奥田和夫(2年)	教育課長	森脇正美(55年)
生涯学習係長	上田利幸(2年)	〃	石田孝一(56年)
町史編纂担当	安谷清(61年)	社会教育課長	永田保(58年)
			土生田誠(62年)





神	二連原	小城	御又	河内	門谷	須野谷	大森	桑野本	川南谷	三原	段
太田垣みよ子(昭3)	伊賀久治郎(大11)	太田垣敏之(昭3)	大塚美壽恵(明37)	達富 良二(大3)	達富 武雄(大2)	清水 宗宣(明44)	大田すみの(大11)	田仲藤太郎(明33)	井上 隆夫(大6)	有馬恵美子(大14)	小林 重雄(故)
	伊賀美枝子(昭3)	瀧下熊次郎(大5)	坂本勘治郎(明33)	高岸 正行(昭2)	和多田しづ(故)	藤原安五郎(明44)	小林 末子(大7)	三輪 俊夫(明42)		有馬 孝(昭2)	小林 てる(大6)
	伊賀 勝賢(昭24)	藤原 俊雄(大1)	坂本 一江(明45)	小林 光枝(大3)	麻山 くま(故)	大原壽美恵(大15)	吉田 豊治(故)	三輪 英夫(明45)		有馬 常吉(故)	加悦 まつ(明39)
	井越 武三(故)	藤原 春枝(大3)	定元 君恵(故)	達富 せき(明41)	和多田 光(大6)	川畑 實(昭9)	吉田 和子(昭2)	三輪 静子(大6)		有馬 つる(明44)	田村 源一(明37)
	太田垣多ひ(明38)		福丸 源七(明41)	達富 よ志(明35)		倉橋 孝(昭4)		三輪與三郎(大12)		有馬 昇(故)	

森	岩崎 すすゑ(大4)	太田垣てるゑ(明44)	太田垣藤榮(昭6)				
苗	大田 啓一(大8)	太田垣 猛(明44)	橋本 まつ(大3)	芳村 輝子(大6)			
市	岩崎喜之助(明41)	谷岡 初恵(明45)	津禰鹿くふ(故)	津禰鹿武志(大9)	津禰鹿とめ子(大11)		
坊	宇野 いせ(明42)	宇野吉左衛門(大3)	宇野 久江(大11)	宇野 金治(故)	宇野輝代治(昭6)		
林	八木 玄哲(明44)						
金	植田 すて(明45)	岩本 きく(故)	竹中 四郎(明41)	竹中さだゑ(大5)	田仲 伊平(明37)		
原	能登新一郎(大2)	能登 たね(大4)					
	井津 綾子(昭8)	井津 ひら(明39)	右近 幹市(昭3)	右近 政子(昭3)	右近三右衛門(明34)		
	右近新一郎(昭7)	右近 すみ(大11)					
東	永岡 なか(明41)	山本つるゑ(明38)	山本 安雄(明31)				
大	木下 そ勉(明43)	永田小兵衛(明42)	山根清治郎(大2)	仲井萬亀男(大15)			
谷	井垣 いし(大6)	井垣 しま(明41)	木下 武夫(大15)	木下 久恵(昭6)	酒井 清次(昭13)		
	笹山キクノ(故)	辻 亀治(明38)	辻 咄もゑ(明45)	仲井 源八(大10)	橋本 一布(明40)		
	平田 俊昇(故)	河原 きみ(大14)	山本 博(昭3)	細田 昌(大14)			
鬼	釜本 秀夫(大4)	釜本 久恵(大9)	平岡 一枝(大1)	平岡 重徳(大5)	平岡 泰子(大12)		
神	村下 つる(大2)						
谷							
小	井垣 章(昭13)	井垣 克巳(大13)	山本 怜子(昭12)	木瀬 質(大10)	木瀬 咄みゑ(大2)		
丸							

芦谷	福岡	トヨ(明43)	安谷	清(大14)	安谷テルコ(大14)			
須谷	大井	ぬさ(明44)	谷垣	嘉納(昭4)	谷垣傳右衛門(明27)	谷垣ひろ子(大1)	谷垣	みつ(明45)
	田中	六郎(明35)	田中	糾(大10)	福丸 秀雄(昭6)	福丸 さわ(大6)	田中	かめ(明37)
	町田	嶺子(昭21)	山村	清治(明42)	福田 ひさ(明42)			
和田	梅森	金三(明34)	伊垣	シナ(明35)	上垣 進一(昭3)	杉垣 武男(大8)	杉垣	正雄(昭5)
	杉垣	年一(故)	平田	義隆(昭10)	吉森 ふる(大13)			
阿金谷	飯尾與志勝	(大10)	小林	きよ(明41)	榊原 信助(大3)	増田 金穂(昭9)	増田	よね(明33)
	増田	富治(大4)	花垣長左衛門	(故)	花垣志津江(明45)	吉岡 政夫(明41)		
羽入	石部	道宣(昭23)	笠浪幸右衛門	(大9)	笠浪と恵子(大11)	山本 まつ(明43)	山本	祐雄(大4)
松本	岩井	進(大11)	岩井	絹子(大13)	大木本浅造(明41)	大木本秀雄(故)	奥田又兵衛	(明40)
	奥田	つま(大3)	谷下	壽雄(故)	吉岡 孝(昭9)	吉岡 むる(明29)		
草飼	岡田	静枝(大2)	小西	保雅(昭23)	小林 清治(大5)	小林 壽榮(大9)	野垣	春榮(大3)
	福田	京(大9)	古林八重子	(大2)	前田 たけ(大2)	山田 治雄(明33)		
竹野	安部	三郎(大15)	井垣	力馬(大7)	伊垣美之助(明40)	伊垣 好子(明41)	伊藤	和子(大11)
	伊藤	ちか(明34)	伊戸	清秀(故)	今井 善子(大15)	宇川 繁勝(明37)	塩谷	豊(大12)
	塩谷	敏子(大12)	桶谷	久雄(大14)	桶谷 房子(昭5)	落合 良照(昭2)	織田	實(昭4)
	小熊	しづ(故)	清水ふつ子	(大15)	清水美智子(大13)	新谷嬉代一(明44)	膳所平八郎	(昭4)



---

## 竹野町史 民俗・文化財・資料編

平成3年3月 発行

編 集	竹野町史編纂委員会
発行者	竹 野 町
発行所	竹野町教育委員会
印 刷	(株)北 星 社
製 本	豊岡市塩津町13-35

---

## 写真・図・表一覧

### 〈口 絵〉

〈カラー〉	轟地区の仏送り
行道面	市場の万灯
羽入観音寺本堂の六十六部笈仏	床瀬の狗留孫(尊)仏
金原日吉神社の御神体と懸け仏	馬場町の百万遍念仏
機織り(切浜)	三原のダブセ
蓮華寺の賽の河原	船屋(竹野浜)
押びな(金原)	麻作り苧蒸しの苧桶(須野谷)
轟の太神楽	苧蒸し鍋(鬼神谷)
狐狩りの刀(羽入)	苧蒸し情景(河内)
田久日のそうの声	川の龍神に供えたなべ取りとなべ敷(羽入)
田久日の盆小屋、盆小屋の内部	豆腐づくり(段)
〈モノクロ〉	アマダ(小城)
夏越の神輿と天狗面(東町)	オイコ(桑野本)
小城十二所神社の懸け仏	相撲甚句
蓬萊(芦谷)	森本のきょうせいさん踊
コトの箸	節分の行事(羽入)
節分の送りドンド(小丸)	宇日の鯨・亀幕 <small>かしら</small>
そもそも(轟)	元小城の人形首
芦谷のアラジヨ柵	

### 〈見開き〉

大枝流芳著「貝盡浦の錦」(寛延2年刊)より

淵上旭江著「山水奇観」(寛政11年)より

## 写 真

番号	写真	ページ	
			7 牛飼いの手拭の被りかた(羽入)・22
1	男子用ウブギ(羽入)……………	17	8 ワラジばき(中村)……………23
2	女子用ウブギ(羽入)……………	17	9 女ものノラギ(羽入)……………23
3	綿入れのヒトツミ(羽入)……………	17	10 テオイ(三原)……………23
4	シマイギ(羽入)……………	20	11 仕事用雨具(羽入)……………25
5	男ものノラギ(羽入)……………	21	12 ワラグツ(下塚)……………25
6	サシコ(竹野)……………	22	13 子ども用の雪ボーシ(下塚)……………25

14	ネコゴタツ (下塚) ……………	28	49	栃原大権現……………	96
15	オウミの小道具 (床瀬) ……………	29	50	高山黄帝社墨書……………	97
16	ヤナギゴウリ……………	32	51	鋸……………	103
17	髪飾り (須野谷) ……………	33	52	トラバサミ……………	106
18	クド (川南谷) ……………	37	53	鮭措……………	108
19	八升なべ (下塚) ……………	37	54	炭竈全景……………	112
20	高膳 (羽入) ……………	38	55	「エンブリ」による搔き出し……………	116
21	箱膳 (羽入) ……………	38	56	マヤ……………	120
22	ひき出しのついた箱膳 (須野谷) ……	38	57	大日如来……………	121
23	エンソ (塩・味噌・醤油)ぐら (段) ……	43	58	大日如来……………	121
24	メンツ (宇日) ……………	45	59	狗留孫 <small>いも</small> 小祠の岩片……………	124
25	作業中の農家の庭 (段) ……………	56	60	養蚕守護札……………	125
26	シビキ壁の家 (田久日) ……………	56	61	神社棟上げ式使用の破魔矢……………	134
27	草屋根の家 (御又) ……………	57	62	屋根葺き……………	137
28	間仕切りの板戸 (羽入) ……………	60	63	木地坏……………	137
29	ニワからマヤへの入口 (須野谷) ……	61	64	木地屋使用の轆轤……………	137
30	シンジン棚 (羽入) ……………	61	65	三原山木地屋二代小椋吉右衛門母の 石碑……………	138
31	舟小屋 (浜須井) ……………	64	66	青井の石切場跡……………	139
32	くら (須野谷) ……………	67	67	藁仕事……………	142
33	木ぐま (東大谷) ……………	68	68	寺の村日役……………	146
34	いろり (小城) ……………	69	69	田久日から宇日への犬道……………	151
35	ろぶた (小城) ……………	69	70	現在の今坂……………	154
36	ランプ (川南谷) ……………	70	71	草蛙・深靴・爪子……………	155
37	川井戸 (三原) ……………	71	72	<small>かんじき</small> 標……………	155
38	共同井戸 (中町) ……………	71	73	三川山と字シブシの山との分かれ 道と道標……………	155
39	トオミイ……………	78	74	『四国偏礼絵図』……………	156
40	センゴク……………	78	75	北前船のものと思われる錨……………	158
41	割り木ぐま……………	81	76	和磁石と遠眼鏡……………	160
42	田祈禱 (阿金谷) ……………	81	77	船茶釜とランプ……………	160
43	北前船金毘羅守護札……………	86	78	釜石の観音像……………	165
44	大弁財天尊女……………	91	79	川舟繫縛木の岩穴……………	165
45	海施餓鬼お札……………	91	80	天秤棒・担い棒・オイソ……………	166
46	海施餓鬼……………	91	81	サス……………	166
47	黄帝像……………	95			
48	高山黄帝社……………	95			

82 フゴ	166	117 氏神祭礼奉納幟旗	260
83 パイスケ (籠)	166	118 保育園での五月節供	262
84 オイソ	168	119 改名	268
85 背中当て・尻当て	168	120 力石 (鬼神谷)	269
86 コイズ (コシズ)	168	121 力石 (轟・御旅屋敷)	270
87 リヤカー	168	122 長持ち唄	274
88 鞍と鞍下	170	123 嫁入り道中 (竹野地区)	274
89 魚市	172	124 大杯	276
90 移動スーパーカー	175	125 町歩き	278
91 地神小祠棟札	188	126 紵の桶	286
92 三原の地神様	189	127 麻のカタビラ (須谷・円通寺所有)	292
93 大地主神	189	128 阿金谷の三味	302
94 辻堂 (鬼神谷)	191	129 須谷の三味	304
95 寺役雪囲い筵	196	130 須谷・円通寺境内のラントウバ	305
96 当番拍子木	197	131 草飼のラントウバ	306
97 堂 (下村)	201	132 三原ダブセの積み石墓	308
98 堂 (下塚)	201	133 阿金谷三味堂	310
99 数珠繰り	204	134 草飼の三味堂	310
100 石段標	214	135 奥須井地藏さん	313
101 蓮華寺御影堂棟札	214	136 サギッチョ (田久日)	324
102 元伊勢お札	220	137 円錐型殯 (草飼)	324
103 元伊勢内宮	221	138 サギッチョ (上ノ山)	324
104 常夜燈、伊勢大神宮	221	139 霊屋型殯 (四方棟と二方棟) (奥安木)	324
105 愛宕大権現 (羽入)	222	140 霊屋型殯 (隼人)	325
106 愛宕社お札	222	141 霊屋型殯 (無南垣)	325
107 京都八坂神社お札	224	142 小屋型殯 (須井)	325
108 河内八幡神社の小祠	225	143 サギッチョ+霊屋型殯 (田結)	325
109 観音像 (市場)	226	144 小屋型殯+霊屋型殯 (須井)	325
110 観音講の講箱 (市場)	226	145 羽入・山の神行事 (つきぞめ)	349
111 行者講掛軸類 (芦谷)	229	146 羽入・山の神行事 (「ハタケモチ」)	349
112 西宮大神宮札	230	147 羽入・山の神行事 (先頭に立つ当人)	350
113 石原神社本殿	231		
114 石原神社境内の末社	234		
115 柄鏡に入っている安産護符	242		
116 氏子木札	260		



148 羽入・山の神行事（「ガンダ綱」をか かげる一行）……………350	176 坊岡の万灯……………414
149 羽入・山の神行事（御幣を折る）…351	177 麻幹で松明を作っているところ…414
150 羽入・山の神行事（川べりをたたく） ……………351	178 下塚の松明……………415
151 羽入・山の神行事（「ガンダ綱」）…352	179 燭椒神社棟札……………449
152 羽入・山の神行事（山の神）……………352	180 色来神社旧扁額……………455
153 田久日の狐狩り……………354	181 日御前神社棟札……………457
154 どんとでその声を唱える（羽入） ……………359	182 八幡神社旧扁額……………459
155 25日天神さんの日まで残されたお鏡 ……………365	183 葦田兵主神社棟札……………460
156 どんどの竹をじくにした鬼の目つき （小丸）……………366	184 「竹野浦真図」にみえる鷹野神社と 現在の社殿……………467
157 虫の口封じ……………368	185 円通寺……………473
158 須谷のアラジョ柵……………391	186 円通寺境内図（明治期）……………476
159 森本の仏送り（川辺へ）……………400	187 観音寺……………477
160 坊岡の仏送り（川辺へ）……………400	188 興長寺……………479
161 下塚の仏送り（川辺へ）……………400	189 西照寺……………482
162 轟の仏送り（川辺へ）……………400	190 少林寺……………484
163 小丸の仏送り（川辺へ）……………401	191 随音寺……………486
164 阿金谷の仏送り（川辺へ）……………401	192 大寧寺……………489
165 羽入の仏送り（土に埋める）……………401	193 長養寺……………490
166 田久日の仏送り（海岸へ）……………401	194 満願寺……………493
167 金原（恵日）百万遍数珠繰り……………404	195 龍海寺……………496
168 神原の百万遍念仏……………406	196 蓮華寺本堂……………498
169 神原の百万遍念仏……………406	197 金光教竹野教会……………500
170 宇日の地藏盆……………409	198 天理教竹野浜分教会……………501
171 竹野の地藏盆（墓地入口の地藏） ……………409	199 田久日の観音堂……………507
172 竹野の地藏盆（井戸上の地藏）…410	200 第一次墓……………507
173 竹野の地藏盆（井戸跡に安置された 地藏尊）……………410	201 芦谷の阿弥陀堂……………509
174 竹野の地藏盆（井戸の上の地藏）…410	202 芦谷の不動尊……………509
175 竹野の地藏盆……………410	203 大般若経納箱……………511
	204 四国巡礼供養木札……………517
	205 狗留孫仏（床瀬）……………523
	206 桃溪甫仙和尚木像……………525
	207 十七夜待講本尊二軸……………530
	208 「安谷家伝記」奥床の間祭壇の図…531
	209 安谷家の「北辰鎮宅靈符神」軸…532

210 安政6年12月「諸勅化取替帳」…535	243 土俵の天井飾り…620
211 観音石像碑(興長寺)…542	244 軍配…621
212 蛇々山観音菩薩…543	245 三役相撲…622
213 四国八十八カ所参道…544	246 大関にかなう弓取り式…622
214 西国順拝供養木札…544	247 竹野相撲甚句…623
215 五社神社…546	248 現在は民家の庭に保存されている力石(川南谷)…623
216 賀嶋山新四国霊場開創記念碑(龍海寺)…547	249 昔は力石をこうして持ち上げた(須野谷)…626
217 小石像(龍海寺)…547	250 辺地三柱神社幕の菊の紋…714
218 観音像の版木…549	251 観音堂傍らの八方瓮(田久日)…720
219 観音像納札…549	252 板仕野郡主神社に祀られている重盛の木像…727
220 諏訪神社…556	253 八大荒神(鬼神谷)…730
221 弁財天社…558	254 城崎町弁天公園に祀られている盛継の供養塔…733
222 ざんざか踊り(八鹿町九鹿)…569	255 岡益石堂…735
223 太鼓踊りの「太鼓役」…570	256 岡益石堂周辺のおびたしい五輪塔群…736
224 太神楽各戸回り…579	257 香住町御崎入口の碑…745
225 山車…580	258 三原の妙見菩薩(産霊神社)…750
226 剣の舞…583	259 田久日地区(昭和55年)…769
227 遊び獅子…584	260 「田久日村漁場図」…774
228 太神楽「女形の道中」…587	261 「宇日村漁場図」…775
229 「女形の道中」…587	262 「竹野村漁場図」…776
230 盆踊りの中座…588	263 「切浜村漁場図」…778
231 盆踊り…591	264 「浜須井村漁場図」…779
232 仮装盆踊り…593	265 ノリツミ…799
233 仮装盆踊り(三番叟)…594	266 聖観音菩薩座像…816
234 三番叟…606	267 薬師如来座像…817
235 三番叟の面(左)白尉面(右)黒尉面…607	268 阿弥陀如来立像…817
236 三番叟の鼓…607	269 紙本著色 涅槃図…818
237 三番叟の侍烏帽子・鈴・扇…608	270 紙本著色 高僧図…819
238 三番叟の素袍(表)…608	271 木版 大般若経…820
239 三番叟の素袍(背)…609	272 十一面観音菩薩立像…820
240 三番叟の袴…609	
241 三番叟の剣先烏帽子…610	
242 葦田兵主神社拜殿の相撲番付額(芦谷)…617	

273 絹本着色 大日如来図……………822	306 紙本着色 地獄図……………846
274 愛染明王図……………823	307 阿弥陀如来立像……………847
275 絹本着色 釈迦三尊並びに十六善神 図……………824	308 葉師如来座像……………848
276 紙本着色 高野四社明神図……………824	309 聖観音座像……………848
277 紙本着色 両界曼荼羅図の内金剛界 ……………825	310 絹本着色 伯英徳俊和尚図……………849
278 白衣観音図と達磨大師図……………826	311 絹本着色 最獄元良禪師図……………849
279 華嚴釈迦座像……………827	312 最獄元良禪師像……………850
280 塑像 山名時義像……………828	313 絹本着色 仏性通応禪師図……………850
281 塑像 山名時熙像……………828	314 釈迦如来座像……………851
282 塑像 月庵禪師像……………829	315 沢庵和尚書簡……………852
283 塑像 沢庵和尚像……………829	316 十二所神社懸け仏……………852
284 板墨絵 天井画……………830	317 蓮華寺鎌倉期五輪塔地輪……………866
285 紙本着色 涅槃図……………831	318 少林寺長祿3年銘五輪塔……………868
286 絹本着色 月庵禪師図……………832	319 香住町訓谷の文安元年銘五輪塔……………869
287 紙本着色 沢庵大和尚図……………832	320 蓮華寺文正元年銘五輪塔地輪……………870
288 紙本着色 松竹に鶴の図屏風……………833	321 蓮華寺椿搜銘五輪塔地輪……………872
289 阿弥陀如来立像……………834	322 蓮華寺有納入孔五輪塔水輪……………873
290 祖師図……………834	323 観音寺金亀院經佛銘一石五輪塔……………875
291 蓮師図……………835	324 観音寺墓地嘉慶2年銘宝篋印塔……………877
292 聖徳太子図……………835	325 観音寺金亀院応永8年銘宝篋印塔基 礎……………878
293 七高祖図……………836	326 長養寺文明2年銘宝篋印塔基礎・笠 ……………879
294 御絵伝図……………837	327 蓮華寺妙安禪尼銘宝篋印塔基礎……………880
295 紙本着色 涅槃図……………838	328 観音寺墓地南北朝時代無銘宝篋印塔 I……………881
296 龍樹菩薩立像……………838	329 観音寺墓地南北朝時代無銘宝篋印塔 II……………882
297 十一面観音菩薩立像……………839	330 観音寺墓地南北朝時代無銘宝篋印塔 III……………882
298 矜羯羅・制吒迦立像……………840	331 小丸墓地宝篋印塔……………883
299 紙本墨書 大般若経……………841	332 大森墓地宝篋印塔……………884
300 聖観音菩薩立像……………842	333 蓮華寺花崗岩製宝篋印塔基礎……………884
301 紙本墨画 龍虎図……………842	334 少林寺石英粗面岩製宝篋印塔基礎……………885
302 紙本淡彩 琴棋書画図……………843	335 宇日墓地文明2年銘板碑……………886
303 紙本着色 蝦蟇・鉄拐図……………844	
304 十一面観音菩薩立像……………845	
305 紙本着色 一心十界図……………845	

336 龍海寺複製六面石幢龕部……………888	363 おまき桜……………936
337 石灯笼の一遺例……………892	364 飾千石船……………937
338 石階の一遺例……………899	365 飾千石船……………938
339 鳥居の一遺例……………902	366 須恵器窯跡……………939
340 狛犬の一遺例……………903	367 須恵器窯跡出土器……………940
341 手水鉢の一遺例……………904	368 轟太神楽……………941
342 宝篋印塔の一遺例……………904	369 古墳横穴式石室……………942
343 蛇々山の三十三観音石仏……………906	370 蓮華寺賽の河原……………943
344 六地藏の一遺例……………910	371 絹本切金著色大日如来画像……………944
345 三界万霊塔の一遺例……………911	372 絹本切金著色愛染明王画像……………945
346 名号塔の一遺例……………912	373 木造聖観音菩薩立像……………946
347 胎藏界大日真言塔の一遺例……………913	374 木造十一面観音菩薩立像……………947
348 廻国供養塔の一遺例……………914	375 石棒……………948
349 四十八夜念仏供養塔の一遺例……………916	376 宝篋印塔……………949
350 光明真言供養塔の一遺例……………917	377 興長寺熊野堂（金毘羅大権現）の船 絵馬……………950
351 経典供養塔の一遺例……………918	378 鷹野神社の船絵馬……………951
352 道標の一遺例……………919	379 細田邸庭園……………952
353 金原・日吉神社の庚申塔……………920	380 阿弥衣……………953
354 行道面……………927	381 柴栗山睨満の碑……………954
355 はさかり岩……………928	382 宇日神社の彫刻……………954
356 絹本淡彩月庵宗光像……………929	383 色乗神社の檜……………955
357 波食甌穴群……………930	384 丈山城跡……………956
358 宇日流紋岩の流理……………931	385 鋳物師辰峠の大岩……………957
359 段の白滝と河床……………932	386 青葉城跡要図……………958
360 絹本彩色伯英徳俊和尚全図……………933	387 段村の絵図……………958
361 狛犬……………934	388 轟・蓮華寺庚申像……………990
362 桑原神社の大イチョウ……………935	

図

1 食事時の家族の座席……………36	4 右近三右衛門氏宅……………59
2 昭和46年以前の平岡重徳氏宅……………56	5 ニワに板ノ間のある民家……………62
3 細田家の屋敷……………56	6 商家の間取り……………63

7 昭和46年以前の藤原俊雄氏宅……………63	42 田の字の間取り名と席次……………672
8 ゴエモンプロ……………66	43 竹野方言地図……………684
9 石場づき……………72	44 但馬の平家落人伝承地区図……………712
10 田植え風景……………79	45 桓武平家系図……………725
11 稲の収穫と稲抜き風景……………79	46 イワシ地曳網……………781
12 脱穀と精米風景……………79	47 イワシサシ網……………783
13 山人〈山仕事〉……………81	48 メバル置網……………784
14 船霊様……………88	49 カレイテグリアミ(手繰網漁) ……784
15 炭竈図……………113	50 タラ網……………787
16 牛馬安全御祈禱札……………120	51 オトシ網……………788
17 養蚕の飼育風景……………123	52 エイトウ網……………789
18 麻作り風景……………126	53 タカリサシダモ網……………791
19 紙漉風景〈1〉……………129	54 チュウコウ(カワハギ)網……………792
20 紙漉風景〈2〉……………130	55 タタキ網……………792
21 河内を訪れた勸進者・宗教者風景156	56 トアミ……………793
22 河内を訪れた物売り風景……………176	57 サバ釣り……………794
23 河内を訪れた飛脚風景……………179	58 イカ釣り……………795
24 明治時代の食事情景……………184	59 その他の釣り……………795
25 明治時代の地芝居……………202	60 ハエナワ(延縄)……………796
26 宇日地区の産屋(コバ)……………246	61 イソミ漁具……………797
27 シリタタキ(草飼)……………256	62 油入竹筒……………797
28 但馬の尻はり5種……………280	63 捕鯨船と捕鯨用具……………801
29 竹野町を中心とする両墓制の分布298	64 漁船断面図……………804
30 竹野の七夕行事……………388	65 中船の帆・櫓・樞……………805
31 竹野の七夕行事……………389	66 絵画・彫刻調査寺社所在図……………813
32 草飼の施餓鬼棚……………392	67 四社明神と本地仏……………824
33 切浜の施餓鬼棚……………392	68 円通寺開山堂(本堂)堂内配置図828
34 竹野の仏壇飾り……………393	69 少林寺障屏画配置図……………843
35 踊り図……………574	70 五輪塔一遺例……………865
36 ならし踊りの採り物(下塚)……………597	71 蓮華寺鎌倉期五輪塔地輪実測図…866
37 「男の子の遊びと玩具」……………645	72 少林寺長祿3年銘五輪塔実測図…868
38 「女の子の遊びと玩具」……………647	73 少林寺長祿3年銘五輪塔拓影……………868
39 「川での魚とり遊び風景」……………649	74 蓮華寺文正元年銘五輪塔実測図…870
40 全日本方言の区画……………655	75 蓮華寺椿搜銘五輪塔実測図……………872
41 全日本アクセントの分布……………657	76 蓮華寺有納入孔五輪塔水輪実測図・873

77 観音寺金亀院経佛銘一石五輪塔実測図……………875	85 縄文時代前・中期の土器……………966
78 観音寺金亀院経佛銘一石五輪塔拓影……………875	86 縄文時代後期の土器……………967
79 観音寺墓地嘉慶2年銘宝篋印塔実測図……………877	87 縄文時代後期の土器K6類(布勢式)……………968
80 観音寺金亀院応永8年銘宝篋印塔基礎実測図……………878	88 縄文時代後期の土器K6類(布勢式)……………969
81 長養寺文明2年銘宝篋印塔基礎実測図……………879	89 小森岡第2地点出土の石鏃……………970
82 蓮華寺妙安禅尼銘宝篋印塔基礎実測図……………880	90 小森岡第2地点出土磨製石斧……………972
83 宇日墓地文明2年銘板碑実測図……………886	91 田久日ヨゴレババ2号墳石室実測図……………973
84 龍海寺複製六面石幢龕部実測図……………888	92 鬼神谷3号窯遺物出土状況……………974
	93 鬼神谷3号窯の層位……………975
	94 鬼神谷窯跡出土遺物の編年……………975

## 表

1 但馬主要鉱山生産額表……………132	(その3) ……………515
2 近・現代竹野浜廻船講・組合人数変遷表……………163	13 竹野町内の巡礼・霊場……………542
3 竹野谷を訪れた行商の人々……………174	14 手踊り型盆踊りの要因一覧表……………589
4 子供主催年中行事表……………205	15 竹野町内の相撲……………618
5 産の忌み明け……………251	16 竹野町内の力石……………624
6 「通婚圏、年別・出身地別婚入者数」……………272	17 近畿方言区画表……………656
7 「同町内在者どうしの婚姻比の推移」……………272	18 奥村三雄『方言と標準語』……………658
8 竹野町の愛宕火と万灯……………412	19 但馬平家落人伝承地市町別表……………748
9 寛保二歳(1742)戊四月美含郡轟村組『村々社堂数書上帳』……………506	20 但馬平家落人伝承地区表……………754
10 十二所神社蔵・大般若経概況一覧(その1)……………515	21 漁船製造費……………803
11 十二所神社蔵・大般若経概況一覧(その2)……………515	22 竹野海岸漁船数……………803
12 十二所神社蔵・大般若経概況一覧	23 十二所権現と本地仏……………855
	24 懸け仏一覧……………857
	25 絵画・彫刻調査寺社一覧表……………860
	26 竹野町中世石造物一覧表……………890
	27 竹野町における文化財一覧表……………925